

大阪大学大学院薬学研究科 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開

1. 研究課題名	保険薬局および病院に従事する薬剤師の心不全緩和ケアに対する認識の現状把握と課題抽出を目的としたアンケート調査
2. 研究責任者 (所属・職位・氏名)	大阪大学大学院薬学研究科・教授・池田 賢二
3. 倫理審査と承認日	【承認日】2024年7月31日 【審査】大阪大学大学院薬学研究科・薬学部臨床研究倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の承認を得て実施する。
4. 研究実施期間	2024年7月31日～2026年3月31日
5. 共同研究機関および 各施設の研究責任者 (※多機関共同研究の場合記載)	
6. 研究の目的・意義	<p>【背景】</p> <p>世界で人口の高齢化が進んでおり、日本は最も進んでいる。心不全は加齢とともに発生割合が増加するため、日本では高齢者の増加に伴う心不全患者の急激な増加、すなわち心不全パンデミックが危惧されている。このような状況の中、厚生労働省は循環器病対策基本計画を作成し、多職種連携・地域連携のもとで心不全患者への適切な緩和ケア（以下、心不全緩和ケア）を推進することを掲げ、喫緊の課題としている。しかし、2020年においても終末期心不全患者への緩和ケア加算の算定状況は1.22%にとどまっており、心不全緩和ケアが十分に普及しているとは言い難い。心不全緩和ケアの障壁には、医療者の理解不足などが挙げられている。心不全緩和ケアの普及のためには障壁解消に取り組む必要があると考えられる。</p> <p>薬剤師は、日本循環器学会や日本心不全学会、日本病院薬剤師会のガイドラインなどの中で、心不全緩和ケアにおいて担う役割が明記され、活躍が期待されている。しかし、薬剤師を対象とした心不全緩和ケア領域における現状調査はこれまでにない。心不全緩和ケア領域における薬剤師の認識の現状は明らかではない。心不全緩和ケア領域における薬剤師の認識を現状把握し、心不全緩和ケアの理解に関する課題を抽出することは、心不全緩和ケアの障壁解消への取り組みの契機となると期待される。</p> <p>【目的】</p> <p>保険薬局および病院に従事する薬剤師の心不全緩和ケアに関する認識の現状把握および課題抽出を行う</p>
7. 対象となる試料・情報、その取得期間、利用方法	2024年7月31日～2026年3月31日の間に、保険薬局および病院で臨床業務に従事する薬剤師を対象として、日本緩和医療薬学会のメーリングリストを使用し、日本緩和医療薬学会の会員である薬剤師から回答を得る予定である。 事前調査票を用いた事前調査、事前調査の結果に基づいて、本調査で使用するアンケート調査票とする。
8. 利用または提供する試料・情報の項目	内容：アンケート回答結果
9. 研究対象者またはその代理人の求めにより、研究対象者が識別される資料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	本研究で得られる回答には個人情報が含まれないため、同意撤回の意向をもつ対象者がした回答を収集した回答の中から同定できず、対応は困難である。なお、同意撤回の意向があっても対応困難である旨は、回答前に示す説明文書中に明記する。
10. 研究資金・利益相反	本研究は運営費交付金により実施し、利益相反はありません。
11. お問い合わせ先	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-6 大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野 教授 池田賢二（研究責任者） 06-6879-8251 k-ikeda.phs@osaka-u.ac.jp